

## 小学生における英検取得の現状と学習のポイント

近年、小学生の英語学習は大きく変化しています。学校教育での英語必修化に加え、「学習の成果を見える形にしたい」というニーズの高まりから、資格・検定への関心が急速に高まっています。

実際に、ある調査では小学生の54.5%がすでに英語資格・検定を取得しており、その中でも「英検（実用英語技能検定・英検Jr.）」の取得者が95%以上と、圧倒的な割合を占めています。英検は、今や小学生にとって最も身近な英語指標となっています。

### 小学生と英検を取り巻く最新動向

#### ■ 受検者数の増加

小学生以下の英検受検者数は年々増加しており、2024年度には約54.7万人に到達。これは全体の約12%にあたり、英語学習の「早期化」が着実に進んでいることを示しています。

#### ■ 英検6級・7級の新設（2026年度～）

日本英語検定協会は、より低年齢の子どもたちにも挑戦しやすい環境を整えるため、2026年度第3回検定から「英検6級」「英検7級」を新設することを発表しています。

主な特徴は以下の通りです。

- ・オンライン受検の導入（PC・タブレット対応）
- ・ルビ（ふりがな）付き問題文で理解をサポート
- ・イラスト選択・音声応答中心の問題形式で直感的に解ける設計

英語学習の「入り口」をより優しくし、無理なくステップアップできる仕組みが整いつつあります。

### 小学生が英検を受けるメリット

#### ■ 学習の定着度を可視化できる

保護者の63.5%が「学習の定着度確認」を目的に受検しているように、英検は単なる試験ではなく、日々の学習成果を測る「ものさし」として機能するので、積極的に受検してみましょう。

#### ■ 明確な目標設定ができる

例えば、小学生の間に5級・4級取得、中学生で3級・準2級、高校生時点で2級以上といった段階的な目標を設定することで、学習のモチベーション維持につながります。

### 小学生が英検を受けるメリット

英検は単なる資格にとどまらず、将来の受験にも直結する重要な要素になっています。

#### ■ 中学受験での優遇

関西圏・首都圏の一部私立中学では、英検取得者に対して、加点、判定優遇、英語入試での活用といった措置が取られています。

#### ■ 高校・大学入試での活用

さらに進むと、高校入試では英語試験免除や加点措置、大学入試では出願資格・得点換算（準2級・2級以上）など、英検は入試戦略の一部として活用されるケースが増えています。

小学生のうちから英検に取り組むことは、将来の選択肢を広げる「先行投資」と言えるでしょう。

小学生における英検取得は、もはや特別なものではなく、「当たり前前の学習ステップ」になりつつあります。

#### ・英語力の定着を確認できる

#### ・学習の目標が明確になる

#### ・中学・高校・大学受験に活用できる

といった多くのメリットがあり、早期からの取り組みは将来に大きなアドバンテージをもたらします。

アーク進学会では、将来を見据えた小学生の英検取得を積極的にサポートしています。小学生一人ひとりのレベルや目標に合わせた英検対策も実施しておりますので、ご興味のある方はぜひお気軽に教室長までご相談ください。

また、英検準会場に指定されているアーク進学会の住道加納校では、5月に英検を実施予定です。英検受検をご検討中の方は、ぜひこの機会をご活用ください。

## 2026年度(令和8年度)の大阪府公立入試の傾向

2026年3月11日、令和8年度（2026年度）の大阪府公立高等学校一般入学者選抜の学力検査が実施されました。今回の入試では、普通科の募集人員1万8,591人に対し、1万8,994人が志願し、競争率は1.02倍となりました。

今年度入試の全体像を整理しながら、合格を勝ち取るために受験生が今から身につけておくべき「3つの必須スキル」を、具体的に掘り下げていきます。

### 大阪公立高校入試-英語-数学の総括

#### 数学-Math

C問題は、大問ごとの難度差が非常に大きく、大問1は比較的取り組みやすい内容であった一方、大問3の空間図形は例年と比べても難易度が高くなっています。全体としては、答えにたどり着くまでの手数が多い問題が目立ち、**一つひとつの条件を丁寧に整理しながら解き進める力が求められる**構成となっていました。そのため、単純な知識や計算力だけでなく、粘り強く考え抜く力と論理的な思考力が試される問題であったと言えます。

**C選択の高校の受験を検討している人は、基本問題は確実に得点できることは絶対条件。ミスは許されません。**また、難易度の高い図形問題を解法に基づいて、解くという学習法の確立が必要になります。

**【対策】C問題**を選択する高校を目指す場合、まず前提として基本問題を確実に得点できることが絶対条件です。ケアレスミスは大きな失点につながるため、精度の高い解答力を身につける必要があります。その上で、

- ・難易度の高い図形問題に対応するため、典型的な解法パターンを体系的に習得すること
- ・空間図形や証明・相似などについて、「なぜその解き方になるのか」を理解しながら学習すること
- ・手数の多い問題に対応するため、途中式や条件整理を丁寧にやる習慣をつけること
- ・時間内に解き切るための、演習量と実践力の強化が重要となります。

C問題では、「正確さ」と「思考力」の両方が求められます。基礎の完成度を高めようとして、応用問題に対する「解き方の引き出し」をアークの授業でしっかりと押さえていくことが、合格への鍵となります。

**B問題**も同様に難度差が大きく、基本～標準レベルを中心としながらも、思考力が問われる構成となっていました。特に図形問題では、予想通り、補助線を用いて相似関係を見いだすなど、着眼点と発想力が試される問題が出題されています。また、大問4のⅠ・Ⅱの最終問題はやや難易度が高く、ヒントや条件を正確に読み取り、それらをどのように組み合わせるかという重要なポイントとなりました。単なる計算力だけでなく、条件整理力と発想力を兼ね備えた思考力が求められる内容であり、受験生の力の差が表れやすい問題であったと言えます。

**【対策】**今後の対策としては、

- ・基本～標準問題を確実に得点できるように、計算力と基礎の定着を徹底すること
- ・図形分野では、補助線の引き方や相似・合同の見つけ方など、マーキングを利用し、ポイントを見抜くことを意識すること。
- ・問題文の条件を整理し、「何が与えられているか」「何を求めるのか」を明確にする習慣をつけることが重要になります。B問題では、「解ける問題を確実に切り切る力」と「思考力を要する問題に対応する力」の両方が求められます。日々のアークでの学習の中で、基礎と応用をバランスよく鍛えていくことが、得点力アップの鍵となります。

#### 英語-English

C問題は、複数の文法事項を組み合わせた出題が多く見られ、単なる知識の暗記ではなく、実際に使いこなす力が求められる内容となっています。また、長文読解では本文の流れや論理を正確に追いつながら読む速読力が必要であり、読み取るスピードと理解力の両方が試される構成でした。

さらに、リスニング（Part C）では、これまでの「両者の意見を整理する形式」から、「一人の人物の意見をまとめる形式」へと変更されており、聞き取った内容を的確に整理する力がより重視されています。

**【対策】**これからの受験者の対策としては、

- ・文法は単体で覚えるだけでなく、複数の文法を組み合わせて使う練習を行うこと
- ・長文は内容理解だけでなく、時間を意識した速読トレーニングを積むこと
- ・リスニングでは、聞き取った情報をそのまま覚えるのではなく、要点を整理しながら聞く力を養うこと

が重要になります。特にC問題では、「なんとなく分かる」から一歩進み、正確に読み取り・判断し・表現できる力を身につけることが、得点力アップの鍵となります。

**B問題**は、課題英作文が独立した大問として出題され、受験生にとってはやや見慣れない形式となりました。これにより、自分の考えを英語でまとめて表現する力がこれまで以上に求められています。また、長文問題では、名詞と後置修飾を「一つのかたまり」として捉える力が問われるなど、文構造を正確に理解する力が必要とされました。単なる単語や文法の知識だけでなく、それらを実際の文章の中で使いこなせるかどうか問われる内容となっています。

**【対策】**これからの受験者の対策としては、

- ・英作文については、日頃から自分の意見を短い英文で書く練習を積み重ねること
- ・長文読解では、単語単位ではなく、かたまりで意味を捉えるトレーニングを行うこと

が重要になります。B問題では、「知っている」から「使える」へのレベルアップが得点の分かれ目となります。日々の学習の中で、実践的な英語力を意識して取り組むことが、得点力向上の鍵となります。

アークでは、毎年の出題傾向を踏まえ、今後受験を控えている生徒一人ひとりの目標や志望校に対して、合格に挑むことができる対策指導を行っています。

単なる知識の詰め込みではなく、「どのように解けばよいのか」を、様々な解法と6色マーカー学習法®を実践し、得点につながる力を効率よく養成していきます。

また、各問題の特徴や難易度に応じて、基礎の徹底から応用・発展まで段階的に学習を進めることで、本番で力を発揮できる実力を身につけていきます。

## 【大学受験】推薦入試へ向けての準備

大阪公立大学と言えば、今や誰もが知る関西屈指の人気大学。その高いレベルと実績から、多くの受験生が目標とする憧れの大学です。その大学に、中学時代からアークに通って住道加納校のS.Kくんが、見事！合格！3年間の頑張りが実を結びました

**合格！**大阪公立大学(工学部) **合格！**  
【住道加納校】S.Kくん

私は、高校三年間で特に定期テストに力を入れて公立大学の推薦を勝ち取ることができました。テストで点数を取ることができたのはアークで分からない問題を丁寧に教えていただいたおかげです。

夏に推薦が決まり、そこからは小論文対策を始めました。小論文では都市についての様々な分野からの出題があり、専門の教科書やニュースを積極的に見たり、物理の問題に多く触れるようにしました。特にセミナー物理については一番力を入れました。

直前期には、アークの先生とLINEを交換して小論文の添削を行っていただきました。この添削があったからこそ合格することができたのだと思います。大体過去十年間ぐらいの小論文の問題に触れることで感覚を掴むことができました。

面接対策においては、大学でやりたいことを明確にし、志望理由のテンプレートにのっとっていくことができたので合格できたのだと思います。また、自己PRについては自分が取得した資格を武器に話しました。

実際に試験当日になると、緊張していましたが過去一番簡単な問題が出題されました。また、面接でも練習通りの受け答えができました。

しっかり対策を行っていれば、落とすための試験ではないので合格できると思います。受験生の皆さん頑張ってください。

### 推薦入試(指定校・総合型)の正しい対策とは?

大学受験は「一般入試だけのもの」ではありません。近年は、指定校推薦・総合型選抜（IBAO入試）を活用して合格する生徒が増えています。

しかし、その分、倍率なども高くなり、**「評定は足りているのに不合格だった」**  
**「面接でうまく話せなかった」**  
**「小論文の書き方が分からないまま本番を迎えた」**

このような結果になってしまうことがあります。これは、主に**対策不足ではなく、「対策の方向性」がズレていることが原因**です。

### 推薦入試は「別の試験」

推薦入試では、一般入試のような知識量だけでは評価されません。**重視されるのは、「自分の考えを持つ力(思考力)」「それを伝える力(表現力)」「志望理由の明確さ」といった要素**です。

つまり、「なんとなく準備した人」と「正しく対策した人」では、大きな差が生まれます。この差が、そのまま合否につながるのが推薦入試の特徴です。

### 面接対策で大切なこと

面接対策というと、「ハキハキ話す」「印象よく答える」といった点を意識しがちですが、**最も重要なのは話の中身**です。

大学が見ているのは、「なぜその学部を志望したのか」「その学びが将来とどうつながるのか」「話に一貫性があるか」といった点です。

例えば、「興味があるから」という理由だけで止まっていたり、将来の目標が曖昧だったりすると、評価は伸びにくくなります。

**大切なのは、「なぜそう思ったのか」「なぜその分野なのか」「将来どう活かすのか」といった部分まで深く言語化すること**です。

また、面接は実践型の試験です。

模擬面接を通して、「話す→指摘を受ける→改善する」というサイクルを繰り返すことで、完成度が大きく高まります。

### 小論文は「考える力」の試験

小論文もまた、「文章を書く力」以上に論理的に考える力が問われます。

よくあるのは、「感想文のようになってしまう」「結論がはっきりしない」「理由に根拠がない」といったケースです。こうした答案では、なかなか高評価にはつながりません。

小論文では、まず基本の型をである「**結論→理由→具体例→再結論**」を身に付ける必要があります。この流れを意識するだけで、文章は格段に分かりやすくなります。さらに重要なのが添削です。小論文は、自分ではよし悪しが判断しにくいので、「**書く→添削を受ける→修正する**」という繰り返しが必要不可欠です。

### 合格する生徒に共通すること

推薦入試で合格する生徒には、いくつかの共通点があります。

- ・早い段階から準備を始めている
- ・自己分析がしっかりできている
- ・第三者からのフィードバックを受けている

そして何より重要なのは、一人で対策を進めていないことです。推薦入試は、正しい対策をした人が確実に有利になる入試です。

#### 面接では「志望理由の深さと一貫性」

#### 小論文では「型と論理性」

これらを意識して準備することで、合格の可能性は大きく高まります。

### アーク進学会の推薦対策

アーク進学会では内申点をとるための定期テスト対策や勉強面の弱点補強だけでなく、一人一人の推薦対策もしっかり行っています。

#### ・小論文の個別添削

#### ・模擬面接とフィードバック

#### ・志望理由書の作成サポート

これらを通して、生徒一人ひとりに合わせた対策を行っています。一人で悩むのではなく、正しい方向で準備を進めることが合格への近道です。

### 「今の対策で大丈夫が不安」といった方は、ぜひ一度ご相談ください。

一人ひとりに合わせた最適な対策をご提案いたします。